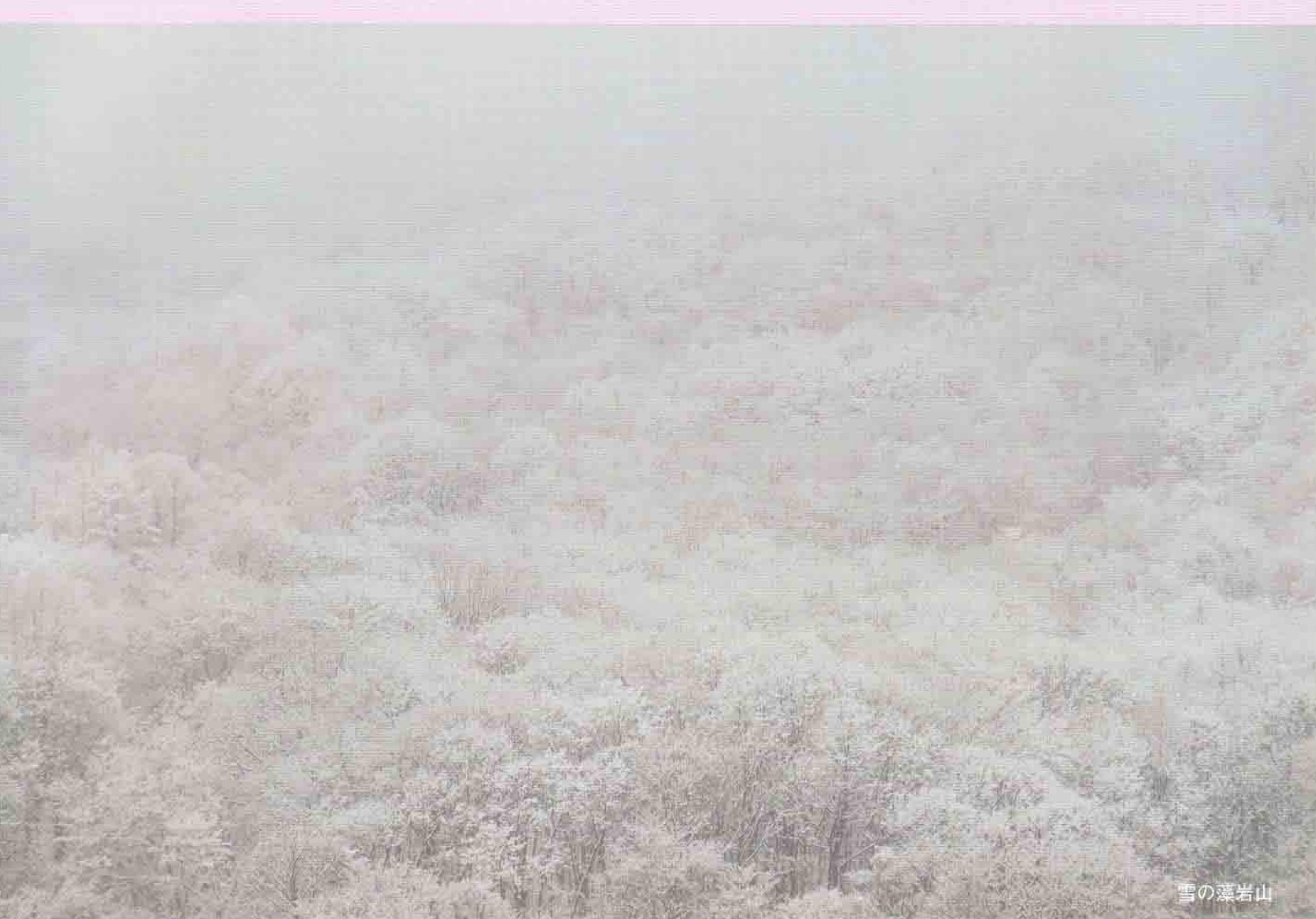


# 雪の藻岩山

第23号

作：板 東



雪の藻岩山



新年あけましておめでとうございます。

地域のみなさまには、夏祭り・文化祭・各種講演会等当院の精神医療の啓蒙活動に対し、ご理解ご協力いただきましたことに深く感謝いたします。

世の中はなかなかまらない、昨年も新聞一面やテレビニュースでも、面倒な事が多かったようです。年が明けると「今年こそは」と皆思うのですが、よい年であって欲しいです。

昨年は「病院機能評価機構」の審査があり、職員全員の協力で無事済ませることができました。手応えがありましたので、結果が待ち遠しいです。

これからも前向きに、改善すべき点は改善するように心がけてゆきたいです。

社会はお互いに助け合うことによって成り立っており、今の自分があるのは、いろいろな人に助けられた結果にはかなりません。

私たちも少しでも社会に役立つような人になるように心がけ、先ず身近な今の仕事に最善を尽くすことが肝腎だと思っております。

平松記念病院は、職員一同今年も一層の努力をする所存でおりますので、地域の皆様におかれましても、当院の活動に対し、引き続きご理解と協力を賜りますようお願いいたします。

平松記念病院

理事長 町田 荘一朗

# アウトリーチ科のご案内

2010年10月に、アウトリーチ科が新しい部署として設立されました。

「アウトリーチ」という言葉はあまり聞きなれないかもしれません、英語で「手を伸ばす」という意味です。社会福祉事業において、医療・福祉関係者が直接出向いて心理的なケアとともに必要とされる支援に取り組む活動のことを言います。

当院では精神科訪問看護をメインとし、11月からは、外来作業療法で「Re·Work(復職活動)」も始まりました。

スタッフは、看護師5名・准看護士6名が在籍しており、訪問看護は、アウトリーチスタッフ、デイケアスタッフと、精神保健福祉士が主に行ってています。

当院の訪問看護を受けられている患者様は、現在121名で、徐々に増加しています。

精神科訪問看護とは精神・身体に障害を持ちながら地域で生活している方が、家庭や地域で安心して日常生活を送ることができるようスタッフが定期的に訪問し、相談や必要な援助を行うことです。

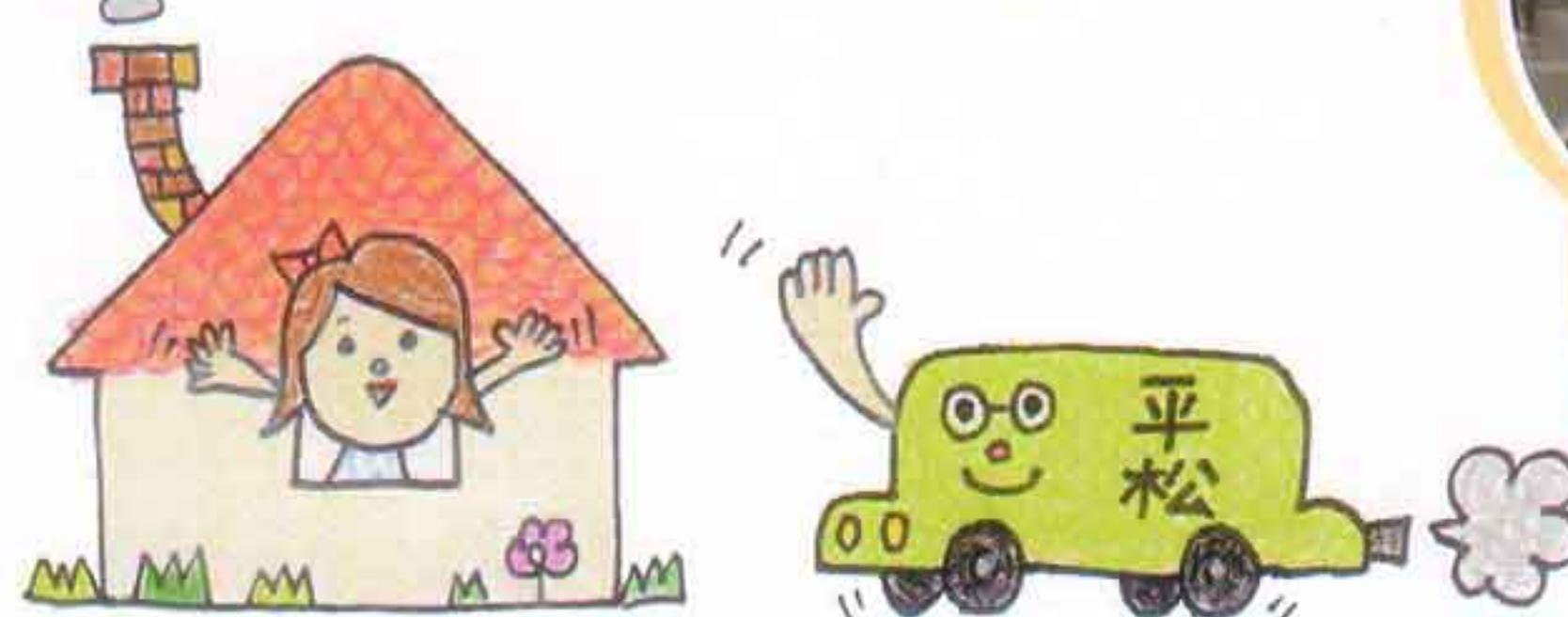
訪問看護では主に、心理的な援助、日常生活の不安に対する援助、健康状態の観察や援助などを行っています。また、社会資源の相談や、ご家族の相談もお受けしています。

## アウトリーチ科スタッフより

アウトリーチ科では、患者様の生活を個別的にサポートできるよう活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

もし精神科訪問看護に興味のある方がいらっしゃいましたら、

お気軽に主治医またはアウトリーチスタッフまで  
ご相談ください。お待ちしております。



おじゅまします



## 外来担当医の変更について

平成23年2月1日より、外来担当医表を下記に変更いたします。

曜日/診察室	月	火	水	木	金	土	日
午前	診察室1	矢萩	寺江	宗(新患)	小熊	武藤(新患)	
	診察室2	寺江(新患)	藤本(新患)	藤本	矢萩(新患)	藤本	
	診察室3	宗	五十嵐	五十嵐	五十嵐(新患)	宗	宗(第1・3・5) 五十嵐(第2・4)
	診察室4	小熊	小熊(新患)		高橋	高橋(新患)	高橋(第2・4)(新患)
午後	診察室1			小熊	寺江		
	診察室2		武藤	武藤	矢萩		
	診察室3					午後休診	午後休診
	診察室4		高橋				

診察受付時間	火・木・金	午前 8時50分～11時30分		予約・変更	火・木・金	午前 9時00分～12時00分		病院休診日
		午後13時00分～15時00分	月・水・土・日(第2・第4)			午前 8時50分～11時30分	午後13時00分～15時00分	
								月曜午後・水曜午後・土曜午後 第2・4日曜の午後 第1・3・5日曜、祝日



第9回目の「笑ってきくとも」ゲストは高橋先生です。マイペースぶりとひょうひょうとした様子がいつも患者さん・スタッフを和ませてくれます。好物は豆乳とトマトジュースだそうです。特に豆乳に含まれるイソフラボンは髪にいいということで、意識的に摂っているんだとか…。意外とヘルシー志向な高橋先生です。それでは、高橋先生よろしくお願いします。

平松記念病院に来て、2年と少し経ちました。歴史ある病院ですからね。慣れてきていますが、やはり時々、気を引き締めて頑張らないと、という思いを感じるときがあります。でも、患者さんと向き合う時には安心して相談してもらえるように、ゆったりと余裕を持って臨みたいとは常に心がけています。

#### <精神科を選んだ理由は?>

何十種もある科の中から精神科を選んだのには、研修の時にご指導いただいた先生の影響が大きかったと思います。もちろん、精神科の雰囲気が好きというのもあるんですけど、例えば「メスや薬を使うだけが治療じゃない」って、思ったんです。一見、普段は誰もが当たり前にしている「話す」という行為をフルに使って治療していくこと、言葉を道具に援助が出来る、これが他の科にはない魅力だと感じたんです。

#### <聞いてもよろしいでしょうか?仕事がオフの日はどう過ごしているんでしょうか?>

基本的には趣味といった趣味はなくて、むしろ教えてもらいたいくらいです(笑)。しいて言うなら、休みの日は友人宅に出かけていることが多いでしょうか。同期との関係は特に大切にしていて、時には仕事について語り合うこともあります。あとは時々スポーツジムで汗を流したり。今はちょっと張り切りすぎたのか首が痛いです。こんなでよろしかったでしょうか…。

#### <患者さん達へ一言>

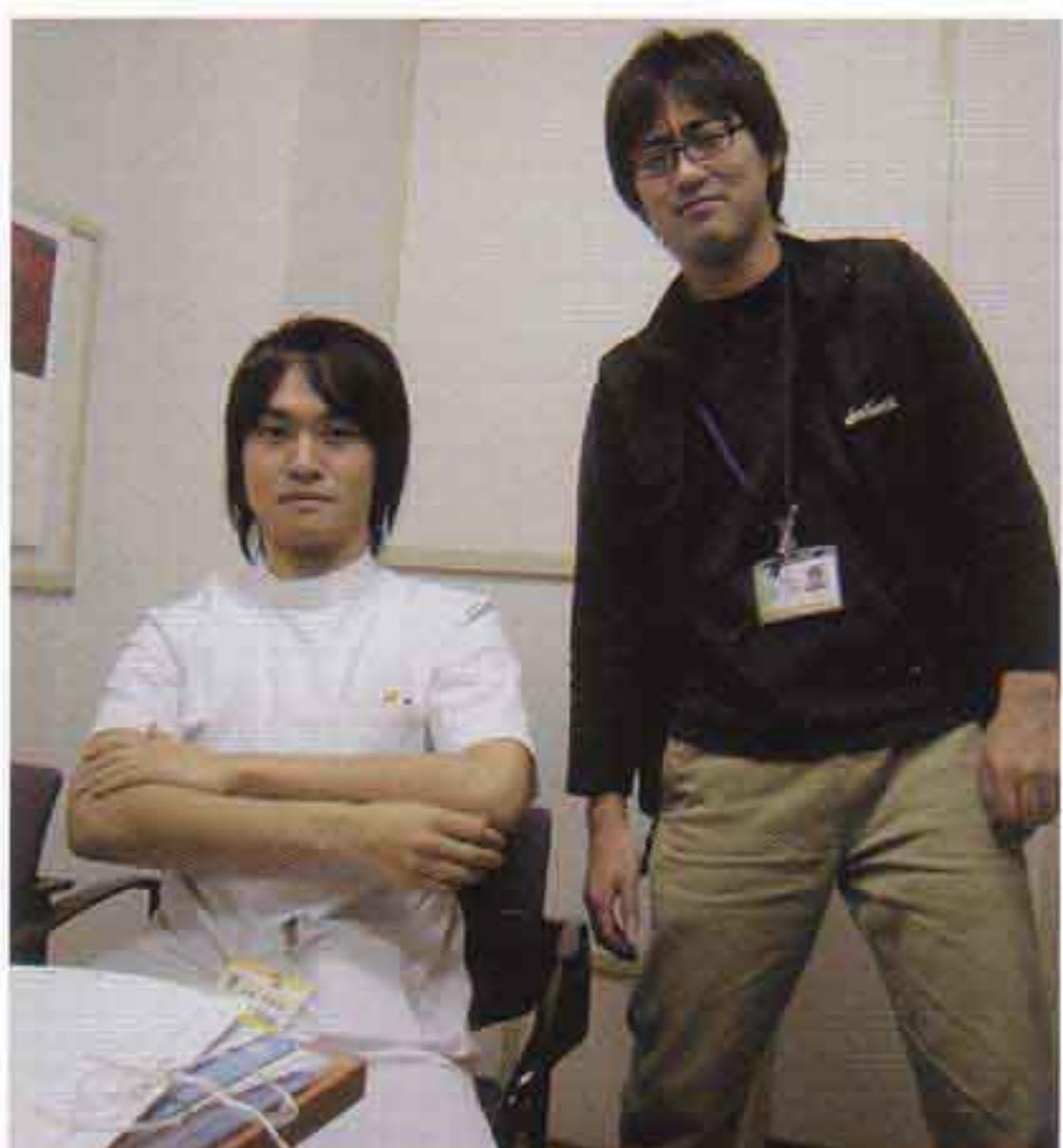
平松記念病院の医師の中ではまだまだ一番の新米ですから頼りなく思われるかもしれません、患者さんに信頼してもらえるよう、今後とも精進していきたいと考えています。

これから長いお付き合いになると思いますので、よろしくお願いします!

#### <最後に、今後の意気込みをどうぞ!>

病院が目指す急性期治療や地域生活支援の充実のため、スタッフ同士もっともっと連携していきたいですね。今でも仕事の合間を見つければ出来る限り、病棟から売店まで色々な部署に足を運ぶようにしてコミュニケーションを大切にしています。話していることはもちろん仕事のことが多いですが、まあ色々です(笑)。いろいろな人と話すのが好きなので。皆さんも気軽に声をかけてください。(写真はプライベートでも交流のあるディケア科 北林OTRとの一枚)

インタビュー中も終始冗談を交えたお話で、記者達を和ませてくれました。記者に紅茶を差し入れてくれましたが、数が一本足りず、結局全部自分で飲んでしまった高橋先生でした。今後もよりいっそうの活躍を期待しています。



次回は 外来の「花井 葉子」師長 ヘバトンを渡したいと思います

次回も  
お楽しみに

# 合 同 レ タ クリスマス会2010

平成22年12月8日(水)当院恒例のイベントである「クリスマス会」が開催されました。点灯式が幕開けとなり、この日のために各病棟で練習されてきた歌や踊りの発表が披露され、大いに盛り上りました。会場内の装飾はイルミネーションが施され、クリスマスムード満点の中、キャンドルサービス・サンタさんからのプレゼントが行われ参加された皆さまは会を堪能された様子でした。



## 矢萩先生 講演会

### 統合失調症とは

平成22年10月27日文化祭の日に、病気について正しく理解してもらうと『統合失調症とは?』というタイトルで矢萩医師による講演会を開きました。当院の患者さんや家族をはじめ、地域の皆さんにも多く出席いただき、「とても勉強になりました」、「来年も是非やってほしい」、「うつ病や他の病気についても知りたい」…など多くの声をいただくことが出来ました。より多くの人に精神科の病気や治療・福祉サービスについて知ってもらえるよう、今後も皆さんの健康に役立つ講座を開いていきたいと考えています。随時ホームページやポスターなどでお知らせしていくので、機会がありましたら是非足を運んでみてください。



編集  
後記

今季の藻岩領より広報委員会に入りました作業療法士の白川です。広報誌だけでなくホームページの方も少しずつ担当していく予定です。ホームページも広報誌に負けないように充実させていく予定です。これからよろしくお願いいたします。



発行人 平松記念病院 広報委員会 発行日 2011年1月25日  
〒064-8536 札幌市中央区南22条西14丁目  
ホームページ: <http://www.hiramatu-mhp.or.jp>  
E-mail: [webmaster@hiramatu-mhp.or.jp](mailto:webmaster@hiramatu-mhp.or.jp) || 表紙写真  
TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710 shouki